

令和3年度 北栄みのりグループホーム 事業計画

事業所名	北栄みのりグループホーム		
施設長	石賀 康丈 (兼務)		
管理者	前田 説子		
実施事業	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護		
開設年月日	平成18年4月1日		
所在地	鳥取県東伯郡北栄町東園219-1		
正規職員数	2名		
準職員数	8名		
契約職員数	8名		
定員	18名		
職員配置	管理者兼介護支援専門員 1名 看護師 1名 介護職員 14名 夜勤専門介護員 2名 計18名		

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し家庭的な環境のもとで、一人ひとりの力を引き出せるように支援します。また、ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関との連携を図り適切な対応に努めます。地域の一員として地域活動を通じ、馴染みの関係を大切にします。

2 運営

法人基本理念を行動規範として、全職員が以下の目標をもって事業活動を行います。

- (1) 『思いやり』と『感謝（おかげさま）の心』をもって、ご利用者様やご家族様及び私たち職員が幸せを感じることでできる施設づくりに取り組みます。
- (2) ご利用者様、ご家族様、地域の皆様から信頼される施設を目指します。
- (3) ご利用者様本位の接遇、職員間の良好なコミュニケーションを施設運営の心得とし、言葉使い・態度など親切丁寧なサービスを提供します。
- (4) 『思いを支えてこそ介護』
一人ひとりの「思い」に耳を傾け、ご利用者様とご家族様の主体的な暮らし、そして自己実現を支援します。
- (5) 一人ひとりの「出来ること」を引き出し、充実した生活を送れるよう支援します。
- (6) 住み慣れた地域の中で、家族や友人との関係を保ちながら、馴染みの関係の中で安心して生活できるよう配慮します。
- (7) 共同生活住居にあっても、「個性と尊厳」を最大限尊重し、可能な限りご利用者様の思いに添ったサービス提供に努めます。
- (8) 家庭的な環境のもとで、掃除、洗濯、食事作りなどの日常生活を共に行うことにより身体機能が保てるとともに、居心地の良い生活空間となるよう努めます。

(9) 医療機関と連携を図り、健康を維持しながら安心して過ごせるよう支援します。また、希望される医療機関に定期的に通院し、心身の健康を維持していただくことで、心穏やかに生活していただけるよう支援します。また、看護師は日頃のご利用者様の健康を管理し、一人ひとりの状態を判断して医療的に適切な指導や援助を行うことにより、グループホームでの生活を続けていただくために必要な支援を提供します。

(10) 生活支援

- ① ご利用者様及びご家族様の意向と状況把握に努め、ケアプランに添った支援を提供することにより、生活の質の向上に努めます。
- ② 安心できる生活環境のもとで、ご利用者様個人の有する能力・可能性を大切にし、一人ひとりの出来ることを尊重したサービスの提供に努めます。
- ③ 余暇活動として、趣味・特技（色塗り・読書・編み物・縫い物等）を生かした手作業や、季節ごとの外出行事、外食などに出かけて楽しさを提供します。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

2階フロア流し台取替設置事業 他 1, 511千円

(2) 事業活動

① 保育園との交流(ひまわり・コスモス交流会)

ご利用者様が長年培ってこられた技術を伝えるとともに、子どもとかかわることにより、自然と笑顔になれることから子どもと触れ合う機会を作ります。

② 地域とつながるコスモスプロジェクト

認知症があっても、気軽に集うことができるオレンジカフェで楽しみながらコスモスを使った作品作りをすることで、地域の方とふれあいながらレモン色のコスモスの輪を広げます。

③ そうめん流し(家族交流)

暖かい雰囲気の中そうめん流しを楽しみながら、ゆっくりとご家族様で交流していただける場を提供します。

④ 収穫祭(北栄みのり交流まつり)

地域住民の方、ご家族様また近隣の施設との交流の機会でもあり、施設で収穫した野菜を用いた会食、地域のボランティアグループや職員の出し物などを行い、楽しい交流の場作りに努めます。

⑤ 蚕の飼育(蚕さんプロジェクト)

入居しておられる多くのご利用者様が営んでおられた、養蚕を生活の中に取り入れ、仕事に打ち込んでおられた頃を思い出し、役割の提供をすることにより、認知症の進行を遅らせ楽しみと喜びを提供します。また、地域の方にも開放し、養蚕を通してご利用者様との交流の場を提供します。

⑥ 北栄茶道教室交流(七夕茶会)

北栄町茶道教室の先生と、教室に通われている小学校低学年から高校生までの、生徒さんが来所され、浴衣姿で本格的にお茶を点てて、ほどよい緊張感を感じな

がら抹茶をいただくとともに、地域の子どもたちとの交流を楽しむ機会を提供します。

⑦ オンライン面会

新型コロナウイルス感染予防対策として直接のご面会を制限する場合には、タブレット端末を活用したオンラインでのご面会を提供し、ご利用者様ご家族様や知人と会う楽しみを維持します。

4 安全管理・衛生管理

- (1) 気付きの観察力を高めるため、ヒヤリハットを実践することによりリスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。
- (2) 設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンス、環境整備に努めます。
- (3) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。
- (4) 新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒を徹底し、三密を防ぎ、感染拡大防止に十分に配慮します。
- (5) 公用車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行います。
- (6) 職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施します。

5 防火・防災、救助活動

防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者を中心に、入居ご利用者様の実態に即した防災訓練（年2回）を実施するとともに、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努めます。
- (2) 有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラー等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全の確保を行います。
- (3) 近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。
- (4) 地震、風水害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄します。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修への参加

- ① 認知症介護実践者研修・キャリアアップ支援研修、認知症介護実践リーダー研修等を通じ、職員の学習意欲を高め、キャリアアップを図ることにより全体資質の向上とサービスの満足度を高めます。
- ② 介護専門職研修会の参加を通じ、介護技術の習得を目指します。

(2) 法人内部研修への参加

- ① 介護専門職研修会の参加を通じ、介護技術の習得を目指します。

② 法人が行う各種内部研修等は、研修内容に適した職員が参加し、知識・技術の向上を図ります。

(3) 施設内のOJT・職場研修の実施

① 全職員参加の施設内職員勉強会を通じ、スキルアップを目指します。

② 研修してきた事に関しては、伝達研修を行い、施設職員全体のレベルアップを図ります。

③ 毎月、身体拘束廃止・虐待防止についての研修を実施し、3か月に1回以上身体拘束廃止委員会を開催することにより、全職員が人権を尊重したケアを念頭においた支援ができるよう努めます。

④ 経験の少ない職員については、知識・技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、チームワークを形成し、業務、施設内の会議、研修などの中でコミュニケーションを図るよう努めます。

(4) 職員の資格取得のための取り組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップの支援に努めます

7 各種団体との連携と地域交流

ご利用者様とご家族様や保育園、地域 団体等との交流の場を設け、社会の一員として積極的に社会交流が図られることを目指します。グループホームが立地する地域へ積極的に出向き、地域住民の理解と協力体制の確立を目指します。地域住民各種団体、保育園等との交流を積極的に取り入れ、地域に開かれたグループホーム作りを推進します。

(1) 広報誌の発行・配布

発行回数：4回／年

配布先：北栄町，包括支援センター，社会福祉協議会，近隣の施設，など

(2) 地域交流行事

5月：ひまわりコスモス交流会

7月：七夕会

10月：北栄みのり交流まつり

12月：餅つき

8 年間行事等

別紙のとおり